スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

兵庫県 播磨町

自 治 体 名 ： 兵庫県播磨町
担 当 課 名 ： 播磨町教育委員会事務局　地域学校教育課
電 話 番 号 ： 079-435-0545

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	9.13 ㎢
人口	34,687人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	1,022 人
部活動数	25 部活動
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	部活動地域移行推進連絡協議会
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定している

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

≪現状≫

播磨町の運動部の種目は、野球、サッカー、バレーボール部、バスケット、ソフトテニス、卓球、ソフトボールで20の部活動で活動している。比較的種目は多いものの、小学校時代に経験した種目が中学校部活動になく、それらの生徒の受け皿がなかった。

そこで、新たに７つの地域クラブとして、剣道、ハンドボール、ダンス、体操、少林寺拳法、水泳、e-スポーツを創設し活動するとともに、19の部活動において、兼職兼業許可を得て50名(教員45名、公務員3名)が地域指導者として従事している。

この結果、学校部活動622人、地域クラブ76人、地域指導者123名がスポーツ活動に参加している状況である。

主な取組として、次を実施した。

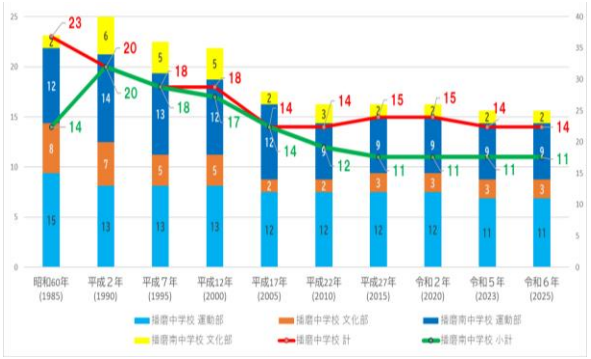
・多様なスポーツ体験の提供
・ジュニアからシニアまでの多世代での取組
・不登校や障害のある子供達の地域の居場所づくり
・安全確保の体制整備
・大学との連携促進
・生徒の発表の場の創出
・保護者等への広報啓発の促進、他

これらの取組の結果、クラブ員も増加し、不登校傾向にある生徒や特別支援学級に在籍している生徒の受け皿にもなったり、複数種目に参加が増加したりしている。

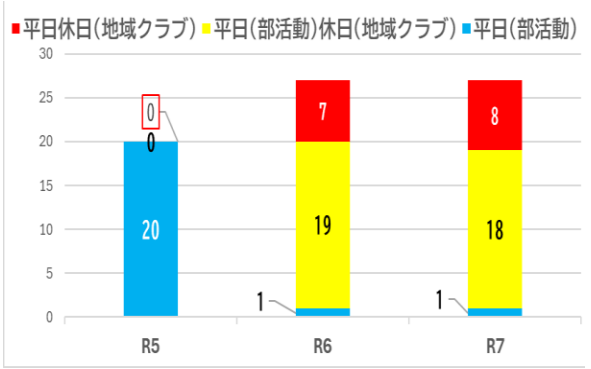
≪今後の課題≫

・運営母体の再整備による機能充実
・系統的指導体制の構築
・指導者の質の向上及び量の確保
・連絡ツール及び指導者管理アプリの開発

中学校部活動推移



運動部・地域スポーツクラブ数推移

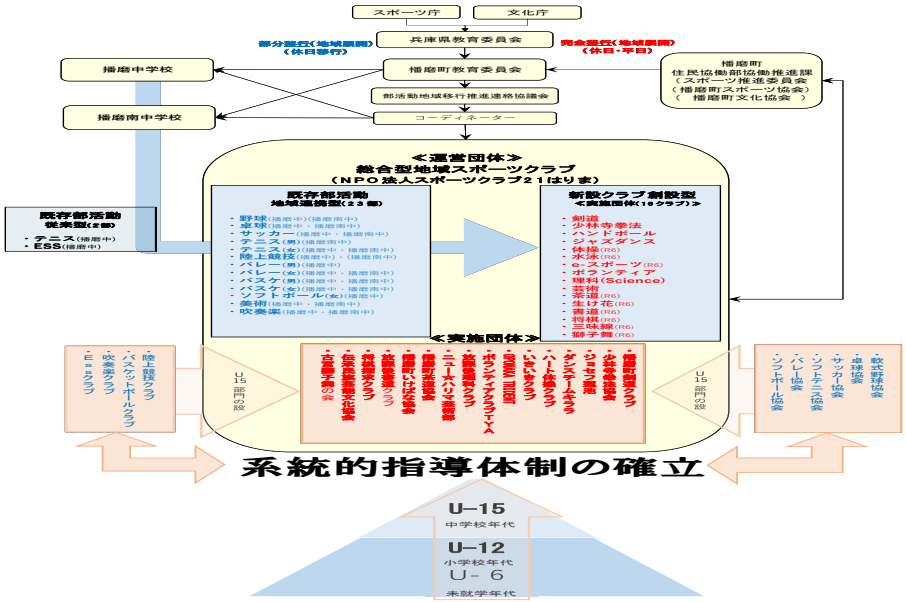


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・教育委員会にコーディネーターを１名(スポーツ担当)配置し、運営団体・実施主体と学校や関係団体との円滑な運用に向け、連絡調整を行う。
・運営・実施主体である「NPO法人スポーツクラブ21はりま」事務職員の増員や内部の機構改革を通した組織再編による機能の充実化を図る。

◉首長部局

・町の重要施策としての位置づけ、部局横断的な取組の推進・町幹部による商工会や企業連絡協議会等との連携促進
・運営団体として位置づけている総合型スポーツクラブ「NPO法人スポーツクラブ21はりま」の再整備による機能充実
・広報紙「３×３」による住民への啓発

年間の事業スケジュール

4月～3月　年間を通し、学校・関係団体との連絡調整(マッチング作業等)

6月　◇第１回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
・播磨町における部活動の現状と課題について
・今後の方向性について
◆第１回スポーツアドバイザー招聘事業の実施

7月　■第１回・第２回スポーツ指導者研修会の開催

8月　◇第２回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
・協議①　指導者の量の確保と質の向上について
・協議②　関係団体・分野との連携強化について
◆第２回スポーツアドバイザー招聘事業の実施
■第３回指導者講習会の開催

10月◇第３回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
・協議③　保護者の負担軽減について
・協議④　アンケート調査内容の検討
10月　◆第３回スポーツアドバイザー招聘事業の実施

12月　◆第４回スポーツアドバイザー招聘事業の実施

1月　◇第４回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
・協議⑤　活動場所の確保について
・協議⑥　大会への参加・運営の在り方について
□アンケート実施(集計・分析)
◆第５回スポーツアドバイザー招聘事業の実施

2月　◇第５回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
・協議⑥成果と課題の抽出
・協議⑦課題対応検討

■第５回指導者講習会の開催

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	7クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		19 クラブ（19 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		7 クラブ
全体の指導者数	99人	全体の運営スタッフ数	5人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
剣道クラブ	総合型スポーツクラブ	剣道	週5回	16：00 ～ 18：00	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	播磨中体育館	3人	0人	1,000円/月	中体連：地域クラブ
ハンドボールクラブ	総合型スポーツクラブ	ジョセフ播磨（R7より変更）	週5回	16：00 ～ 18：00	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	播磨小体育館	3人	0人	2,000円/月	中体連：地域クラブ
ダンスクラブ	総合型スポーツクラブ	ダンス	週1回	19:00 ～ 21:00	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	中央公民館	2人	0人	2,800円/月	
体操クラブ	総合型スポーツクラブ	体操（新）	週２回	平日18時 ～20時 休日 13時～ 15時	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	播磨西小体育館	2人	0人	2,500円/月	中体連：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
水泳クラブ	総合型スポーツクラブ	水泳（新）	週 1 回	19:00 ～ 20:00	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	播磨町健康いきいきセンター	1人	0人	1,000円/月	参加なし
少林寺拳法クラブ	総合型スポーツクラブ	少林寺拳法	週 1 回	13:00 ～ 15:00	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	播磨南中武道場	1人	0人	2,000円/月	その他：地域クラブ
e－スポーツクラブ	総合型スポーツクラブ	E-スポーツ（新）	週 1 回	17:00 ～ 19:00	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	E－スポーツ place 集会所	3人	0人	2,000円/月	参加なし
播磨中 野球部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	野球（新）	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨中グラウンド	2人	0人	3,000円/年	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中野球部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	野球（新）	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨南中グラウンド	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
播磨中 女子バレーボール部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	バレーボール（新）	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨中体育館	3人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中女子バレーボール（部休日移行）	総合型スポーツクラブ	バレーボール（新）	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨中体育館	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中 男子バレーボール部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	バレーボール（新）	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨中体育館	5人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中 男子バスケットボール部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	バスケットボール（新）	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨中体育館	3人	0人	2,000円/年	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中 女子バスケットボール部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	バスケットボール（新）	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨中体育館	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
播磨南中男子バスケットボール部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	バスケットボール（新）	週１回	9:00～12:00	１年 ２年 ３年	R6.6月～R7.4月	播磨南中体育館	2人	0人	0円/年 ＋適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中女子バスケットボール部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	バスケットボール（新）	週１回	9:00～12:00	１年 ２年 ３年	R6.6月～R7.4月	播磨南中体育館	4人	0人	0円/年 ＋適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中男子ソフトテニス部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週１回	9:00～12:00	１年 ２年 ３年	R6.6月～R7.4月	播磨中テニスコート	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中女子ソフトテニス部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週１回	9:00～12:00	１年 ２年 ３年	R6.6月～R7.4月	播磨南テニスコート	4人	0人	500円/年	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中男子ソフトテニス部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週１回	9:00～12:00	１年 ２年 ３年	R6.6月～R7.4月	播磨南中テニスコート	３人	0人	0円/年	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
播磨南中男子バスケットボール部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	バスケットボール（新）	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～R7.4月	播磨南中体育館	2人	0人	0円/年 ＋適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中女子バスケットボール部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	バスケットボール（新）	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～R7.4月	播磨南中体育館	4人	0人	0円/年 ＋適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中男子ソフトテニス部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～R7.4月	播磨中テニスコート	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中女子ソフトテニス部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～R7.4月	播磨南テニスコート	4人	0人	500円/年	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中男子ソフトテニス部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～R7.4月	播磨南中テニスコート	3人	0人	0円/年	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
播磨中卓球部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	卓球	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～R7.4月	播磨中卓球場	3人	0人	300円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中卓球部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	卓球	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～R7.4月	播磨南中卓球場	2人	0人	0円/年 ＋適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中サッカー部（休日移行）	総合型スポーツクラブ	サッカー	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～R7.4月	播磨中グランド	4人	0人	1,200円/年	中体連：部活動 その他：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 第13回SC21はりま杯卓球大会（R6.5.14開催：参加者約72名、うち中学生24名）
- 第８回スポはりカーニバル（R6.5.14開催：参加者約85名、うち中学生2名）
- スポーツメンタルトレーニングセミナー（R6.8.1開催：中学生参加者32名）
- 播磨町地域クラブ体験会（R6.8.8開催：参加者約100名）
- うみえーるあおぞらスプラッシュ（R6.8.20開催：参加者約2,000名、うち中学生25名）
- 第1回SC21はりま杯モルック大会　（R6.5.14開催：参加者約23名、うち中学生4名）
- うみえーるあおぞらハロウィン（R6.10.29開催：参加者約1,500名、うち中学生15名）
- トップアスリート招聘事業　朝原宣治氏陸上教室(R6.12.25実施：中学生参加者：32名)
- 中学校入学説明会において、生徒・保護者に対して部活動の地域移行(地域移行)の概要説明及び募集リーフレット配布（R7.2.14開催）

2.実証内容と成果

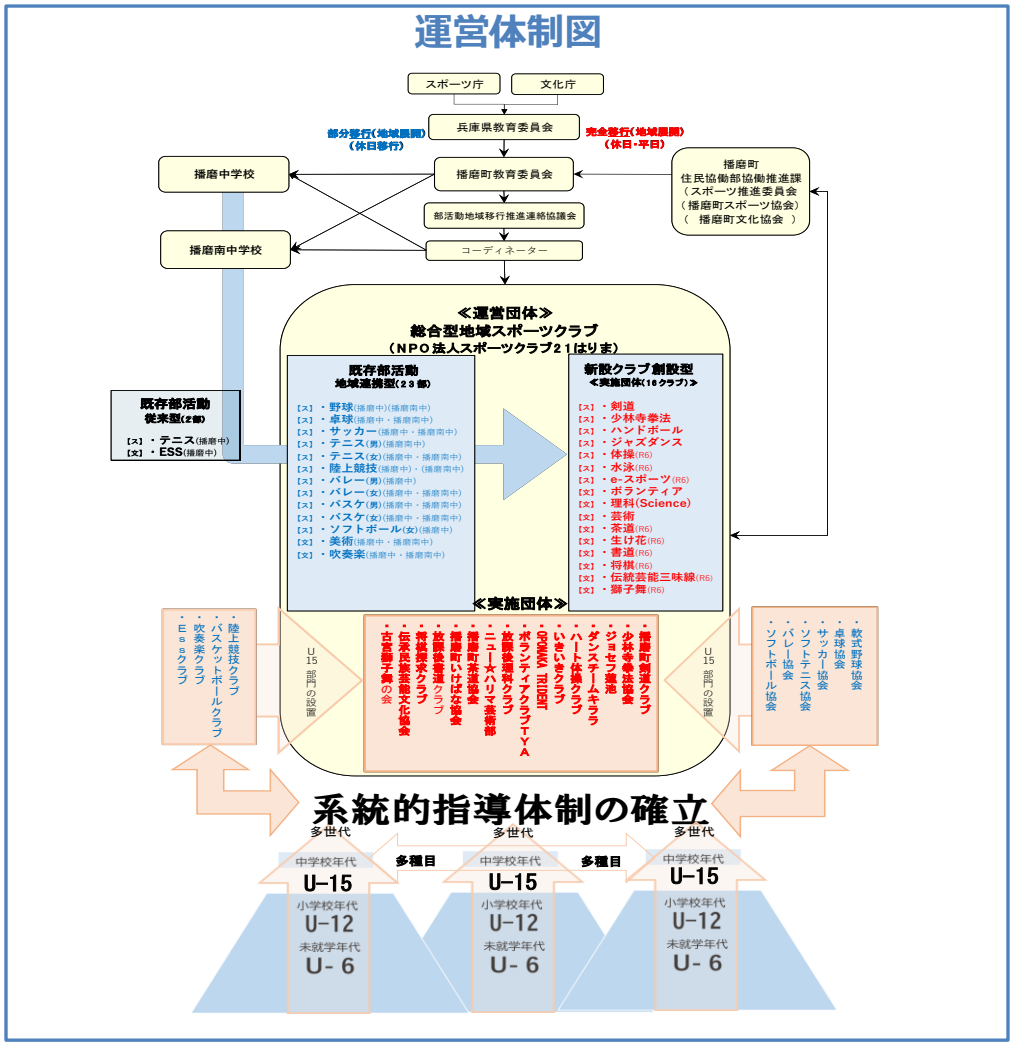
スポーツ庁

主な取組例

●地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道、ハンドボール、ダンス、体操、水泳、少林寺拳法、ｅ－スポーツ、野球、卓球、バレーボール、サッカー、テニス、陸上競技バスケットボール、ソフトボール、
運営団体名	NPO法人スポーツクラブ21はりま
期間と日数	○新設クラブ 期間：１年間　週1回～5回 ○休日地域移行 期間：令和6年6月～　週１回
指導者の主な属性	地域指導者(会社員・在宅) 兼職兼業教職員 兼職兼業地方公務員
活動場所	学校体育施設 町立スポーツ施設 民間スポーツ施設
主な移動手段	自転車または徒歩など
１人あたりの参加会費等（年額）	12,000円(剣道) ～ 33,600円(ダンス)
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生　徒：　800円/年 指導者：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2.実証内容と成果

スポーツ庁

主な取組例

●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

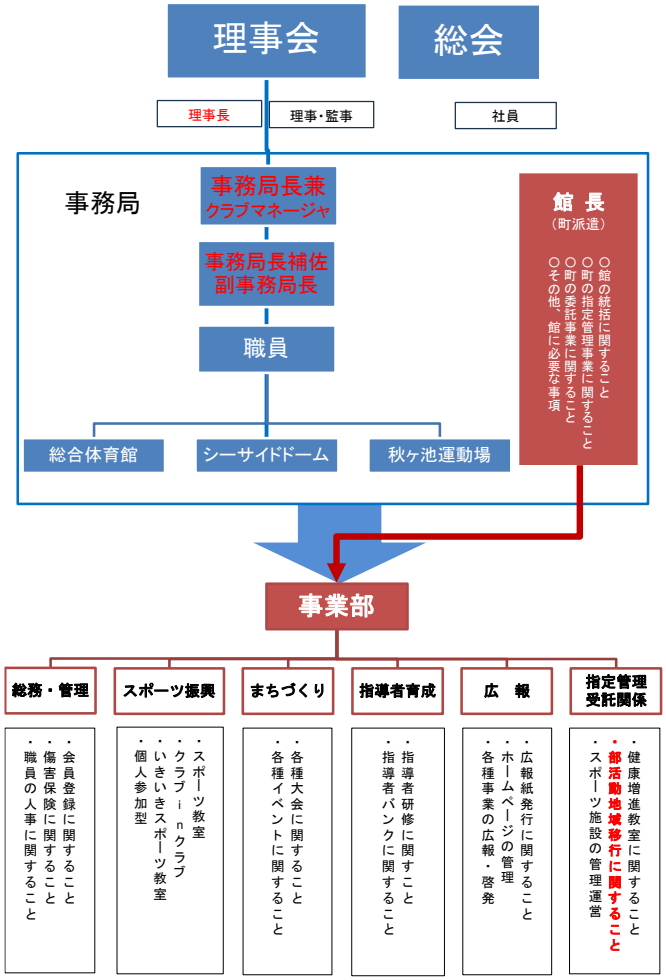
〇統括責任者(理事長：１名)
«役割分担»
・受託事業における管理責任者
・運営団体としての機能強化(運営母体の在り方検討)
・９年間を見据えた系統的指導体制の確立

〇主任指導者(事務局長兼クラブマネジャー：１名)
«役割分担»
・総務(事務処理)責任者
・施設管理事務を含めた総務全般の事務
・地域指導者との連絡調整
・行政(教育委員会・住民協働部協働推進課)との連絡調整等

〇運営補助者(副事務局長：１名)
«役割分担»
・会計責任者(謝金・旅費等支払い)
・その他、事務全般

〇相談窓口(地域移行コーディエネーター：１名)
«役割分担»
・部活動の地域移行(地域展開)に係る地域、保護者からの相談対応
・播磨町文化協会等とのコーディネート業務

令和6年度　スポーツクラブ21はりま組織図



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

«コーディネーターの取組»
〇部活動の地域展開への理解や地域指導者への参画に向けて、各中学校区に２名(スポーツ・文化芸術担当)を配置

«クラブ運営及び中間支援体制の構築の取組»
〇地域人材や民間事業者に対する設立・クラブ運営への助言等

«地域クラブ活動の運営の効率化の取組»
〇R7年度当初運用に向けて、地域指導者の労務管理や活動報告、謝金計算、生徒等への連絡ツール等の開発、導入

取組の成果

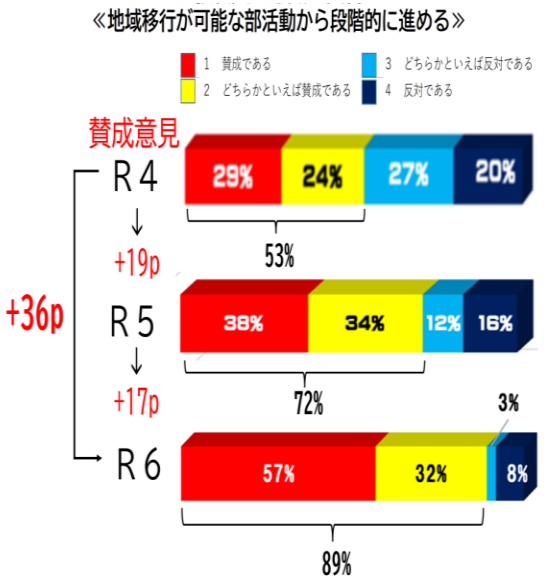
«コーディネーターの取組»
〇部活動顧問とのヒアリングを重ねることで、地域展開への理解促進が図られ、R4年度(53%)と比較しR6年度(89%)は36ポイントの肯定的意見が増加し教職員の意識が変容した。
〇地域指導者への参画に向け、人材発掘や兼職兼業制度の活用を通して、R5年度10の既存部活動がR6年度末には23の地域連携型部活動になり、休日の活動が地域移行され地域クラブ活動が展開されている。

«クラブ運営及び中間支援体制の構築の取組»
〇地域人材や民間事業者に対する設立・クラブ運営への事業説明や協力依頼等を通した結果、部活動になかった体操、水泳、e-スポーツのクラブが誕生し、計16クラブ(うちスポーツ7クラブ)となり、生徒の選択肢の幅が広がった。

«地域クラブ活動の運営の効率化の取組»
〇R7年度当初運用に向けて、運営団体の業務の効率化や個人情報保護の観点から、地域指導者の労務管理や指導者、保護者、生徒への連絡ツール等の開発し、R7年度当初から導入開始することになっている。

教職員の意識変容

«R4.5.6年度　教職員アンケート結果より»



コーディネーターの具体的な動きの実績

〇部活動地域展開の理解促進の取組
・部活動の地域展開促進を図るため、連日、学校訪問し顧問とのヒアリングを実施
〇地域指導者の参画への取組
・種目協会や体育館利用サークルの代表等への説明会の開催や本事業への参画依頼

今後の課題と対応方針

«今後の課題»
〇運営団体である総合型スポーツクラブであるNPO法人の再整備による機能充実
«対応方針»
〇持続可能な運営を図るため、社団法人や財団法人等への転換を図るためにR7年度に運営に係るあり方検討委員会を設立し協議予定

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

≪質の保障≫
〇日本スポーツ協会(JSPO)、競技団体(NF)の公認資格取得助成に関する取組

≪量の確保≫
〇連携協定締結大学の人材活用
〇コミスクや地域関係者を通じた情報収集や募集

人材バンクの人数

99名(全体123名)

人材バンクの年齢構成

10代	1名
20代	28名
30代	25名
40代	16名
50代	12名
60代以上	17名

登録者属性

〇兼職兼業指導者　：49人
・町内教職員：44人
・町内公務員：3人
・町外教職員：1人
・町外公務員：1人

〇地域指導者　：53人
・民間事業者：9人
・協会等　：44人

種目

〇軟式野球
〇卓球
〇サッカー
〇男子テニス
〇女子テニス
〇陸上競技(R7完全地域移行)
〇男子バレー(R7完全移行予定)
〇女子バレー
〇男子バスケット(R7完全移行予定)
〇女子バスケット
〇女子ソフトボール(R7完全移行予定)

資格有無

≪R6認定済み≫
〇陸上競技(C3)　1名
〇バレーボール(C1)　1名
〇サッカー(C1)　1名

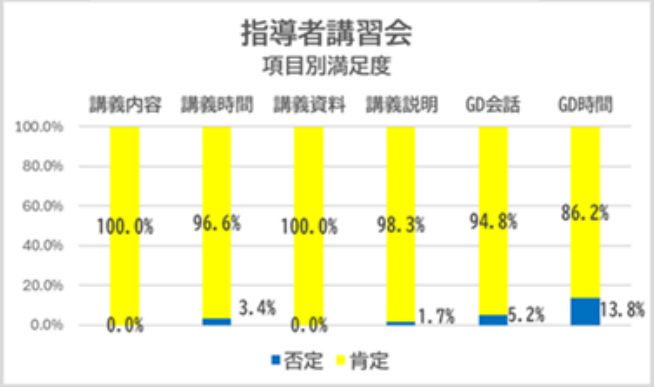
≪R6受講・R7認定≫
〇陸上競技(C1)　4名
〇ソフトテニス(C1)　1名
〇卓球(C1)　1名
〇バレーボール(C1)　1名

取組の成果

≪質の保障≫
〇日本スポーツ協会(JSPO)、競技団体(NF)の公認資格取得助成に関する取組　【6名】※　計9名の資格保有者で運営
・陸上競技　【3名】
・ソフトテニス　【1名】
・卓球　【1名】
・バレー　【1名】

≪量の確保≫
〇連携協定締結大学の人材活用
・ハンドボール部監督1名、選手1名が臨時コーチとして参画
〇コミスクや地域関係者を通じた情報収集や募集
・各校コミスクで事業趣旨説明及び地域人材を発掘しソフトボールに参画予定

指導者講習会の満足度
≪参加者アンケート結果より≫



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

第１回
〇テーマ：「部活動におけるハラスメント防止とガバナンスの確保」
〇講 師：流通科学大学　准教授　与那覇　秀勲　氏

第２回
〇テーマ：「安全管理・応急措置について」【警報発令により中止】
〇講 師：兵庫公認インストラクター

第３回
〇テーマ：「学校との連携について（報告・連絡・相談）」
〇講 師：NPO法人アスロン　理事長　井原　一久　氏

第４回
〇テーマ：「チームマジメントについて」
〇講 師：流通科学大学　准教授　内田　遼介　氏

第５回
〇テーマ：「地域クラブの指導者の役割」、「１年間の総括」
・講 師：流通科学大学　教授　山口　史郎　氏
・講 師：流通科学大学　准教授　与那覇　秀勲　氏

指導者研修の参加実績

〇開 催 日：　６月２２日、　７月２０日【中止】、
　　９月１４日、１１月１６日、２月８日

〇開催回数：　５回

〇参加人数：　各回平均：58 人

受講者の声

第１回
〇組織をオープンにしていくことが大切。
〇指導者で共有する。
〇コミュニケーションの重要性に気づかされた。(言葉使い)

第３回
〇学校(顧問)と連携の重要性が生徒の指導に大きく関わる。
〇定期的な研修でヒヤリハットを共有することが大切だと認識した。
〇リスクマネジメントについて深く考えるようになった。

第４回
〇子供への声掛けに生かす事例が多く今後の指導に役立てる。
〇保護者、生徒とのコミュニケーションの重要性に改めて気づいた。
〇指導者同士で指導方針や生徒の状況等を共有することが大切。

第５回
〇他の競技との指導者との交流により視野が広がった。
〇この一年間で、多様な気づきがあった。
〇今後も研修に努め、個や組織としての指導力の向上に努めたい。

今後の課題と対応方針

«課題»
〇研修会参加者の満足度は多いものの、は毎回教師の参加が少ない。
〇地域指導者と兼職兼業教師のさらなる連携促進

«対応方針»
〇学校行事を的確に把握し、早期の調整により案内をすることが必須
〇コーディネーターが面接等で教師の意識改革の促進が必要
〇次年度以降は悉皆研修とし、一定の参加率出席者及び認定試験合格者に町独自の認定書を交付することを検討

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

〇学校との連携促進
・部活動地域展開に向け、まず、地域連携型クラブ(休日移行)の設立にむけ、本地事業の趣旨等の説明会の開催

〇教員の働き方改革の取組推進
・休日の活動を地域指導者との役割分担の明確化

〇競技団体や民間団体等の連携促進
・スポーツ協会加盟等の種目団体との個別説明会の開催
・民間スポーツ団体への時宜用説明会の開催を通じた事業参画依頼

取組の成果

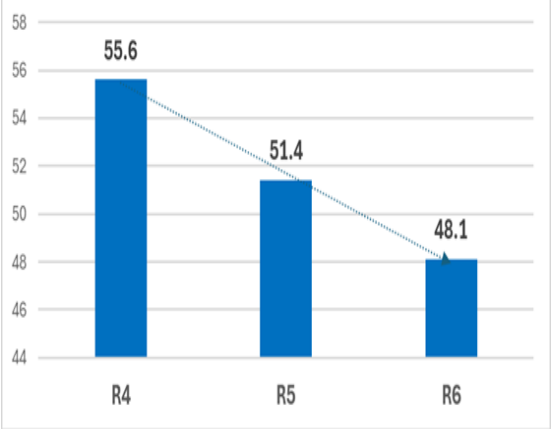
〇19の運動部が18部まで地域連携型クラブ(休日)に移行完了

〇平日、休日の指導における教員と地域指導者との業務の明確化が図られ、教員の超過勤務時間の減少(R4年度比：7.5h/月)が図られつつある。

〇スポーツ協会や民間団体の参画を得て、スポーツ系地域クラブを新たに７クラブ(剣道、ハンドボール、ダンス、体操、少林寺拳法、水泳、e-スポーツ)を創設し、生徒のニーズに対応した活動母体の選択肢を増やせたり、小学校時代から継続して取り組めるようになったり、系統的指導体制が整備されつつある。

〇スポーツ系地域指導者として99名を確保し各クラブで従事
・地域指導者　　：46名
・兼職兼業指導者：53名(教員50名、公務員3名)

中学校教員の超過勤務時間推移
≪月間平均時間≫



今後の課題と対応方針

≪課題≫
〇系統的指導体制の構築
〇兼職兼業教員のさらなる意識改革
≪対応方針≫
〇組織で子供達を見守るため、スポーツ協会への加盟促進目指し、持続可能の体制整備
〇中学校教員のさらなる意識変容に向け、コーディネーター中心に学校との協力体制の構築

バス等の運行実績

〇町内の居住地面積(3km×2km)が狭く、その中に２中学校しかないので運航実績はなし。

バス等の運航経費・収入

〇町内の居住地面積(3km×2km)が狭く、その中に２中学校しかないので運航実績はなし。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

〇生徒のニーズ(志向)に応じた多種多様なスポーツの体験を提供

〇既存部活動を完全に地域移行するとともに、新たな地域クラブの創設

〇県内大学(国立・県立・私立)や町外の関係団体、民間団体等との連携強化

各自治体の役割

〇生徒のニーズに応じた多種多様なスポーツ活動体験を提供するための新たな地域クラブの創設

〇定期的な児童生徒、保護者、教職員へのアンケート調査を実施し現状把握につとめ適切に分析検証を行う。

〇スポーツ活動と文化芸術活動との両方に参加できる体制整備

移動手段

〇自転車

〇徒歩

〇その他

事務局運営の方法

〇教育委員会にコーディネーターを１名増員し２名体制(R6)により、本事業に対する関係者のさらなる意識の変容を図る。

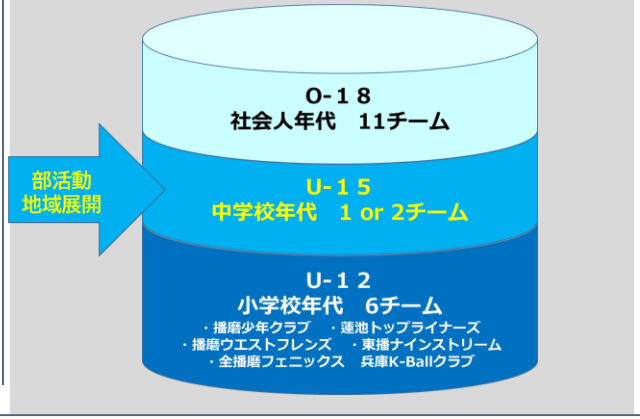
〇運営団体「NPO法人スポーツクラブ２１はりま」に町職員を出向(R6)させるとともに、地域移行担当を配置することで、運営団体・実施主体の機能の充実を図る。

取組の成果

〇スポーツ協会や民間団体の参画を得て、スポーツ系地域クラブを新たに７クラブ(剣道、ハンドボール、ダンス、体操、少林寺拳法、水泳、e-スポーツ)を創設し、生徒のニーズに対応した活動母体の選択肢を増やせたり、小学校時代から継続して取り組めるようになったり、系統的指導体制が整備されつつある。【再掲】

既存団体連携イメージ
≪軟式野球ver≫

中学生にとどまらない、ジュニア世代（小学生）を含む
9年間を見据えた系統的指導体制の確立



今後の課題と対応方針

≪課題≫
〇兼職兼業教員の意識改革
〇運営団体の機能充実
≪対応方針≫
〇中学校教員のさらなる意識変容に向け、コーディネーター中心に学校との協力体制の構築
〇持続可能な運営体制構築に向けた「地域展開在り方検討委員会(仮称)」での検 討

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

連携協定締結大学の流通科学大学の協力のもと、近畿大会、全国大会を控えた選手が所属する陸上競技部員を対象に下記のとおり、スポーツメンタルトレーニングの重要性の研修会を開催した。

記

«名称»
「スポーツメンタル
トレーニングセミナー」

«日時»
令和６年８月１日(木)
10:00～12:00

«場所»
播磨町中央公民館

«対象»
播磨南中学校陸上競技部
男女(33人)、顧問(3人)

«取材»
NHK神戸、BANBAN-TV

活動の詳細

参加人数	33人	指導者数	5 人
属性	播磨南中学校陸上競技部、流通科学大学　准教授　内田　遼介　氏、同大学学生４名		
具体的な内容	○「スポーツメンタル　トレーニング」の概要説明 ○心理検査 ○回答・プロフィールの作成 ○診断結果の開設 ○グループでの学生スタッフによるミニ講義 ○まとめ		
子供の声	○技術面や体力面だけでなく、日頃から心をトレーニングすることの大切さを学べた。(中3女) ○これからは、平常心で試合に臨めるよう今日学んだことを思い出し頑張りたい。(中3男) ○リラックスし、イメージトレーニングしたり、セルフトークをしたりしながら試合に臨みたい。(中2女)		
関係者の声	○本番で普段どおりの実力を発揮させるコツを学び、今後の生徒の指導に役立てたい。(顧問) ○覚醒レベルと実力発揮度の関係を学び、最適な覚醒レベルで競技場面に臨ませるには、メンタルトレーニングに取り組む必要があると理解した。(顧問)		
運営経費	○大学との連携した研修プログラムとして、位置付けているため、講師料及び旅費は無料 ○会場使用料：全額減免 ○需用費：用紙代を消耗品費から支出		

スポーツメンタルトレーニングセミナーの様子
«播磨南中学校陸上競技部»



スポーツメンタルトレーニングセミナーの様子
«播磨南中学校陸上競技部»



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

取組の成果

〇スポーツから文化芸術まで、部活動にはなかったような種目・分野を新設し一体的に推進
«スポーツ»
・体操クラブ　・水泳クラブ　・eスポーツクラブ　・ダンスクラブ　・剣道
・少林寺拳法クラブ　・ハンドボールクラブ
«文化芸術»
・理科クラブ　・芸術クラブ　・体操クラブ　・生け花クラブ
・茶道クラブ　・Jrリーダークラブ（ボランティア）・将棋クラブ　・書道
・伝統芸能(三味線)　・獅子舞
〇複数クラブに所属可能な体制の構築
（スポーツ活動と文化的活動の両方に参加できる）
・陸上競技、ダンス、卓球と生け花、テニスと将棋等、約70名がスポーツ、文化芸能の複数クラブで活動
〇幅広い年代が参加でき、誰もが楽しめるレクリエーション活動等の展開
・あおぞらスプラッシュ　・モルック大会　・スポはりカーニバル
・3人制バスケットボール　等
〇学校でも家庭でもない、地域の中にある居場所づくり
・不登校生徒も障害の有無に関わらず活動に参加できる仕組み
(居場所：e-スポーツクラブなど)

多様なレクリエーション活動の展開の様子
«「3on3」「あおぞらスプラッシュ」「スポはりカーニバル」「モルック」»






今後の課題と対応方針

«課題»
〇パラスポーツを取り入れた教室が少ないことから、誰もが気軽に参加のイベント企画が必要
〇中学校年代だけでの活動ではなく、競技種目別での多世代でのスポーツ活動に取り組める環境整備

«対応方針»
〇障害の有無にかかわらず、多世代でスポーツ活動に参加できる環境を整備する必要がある。
〇競技種目別でのスポーツ協会への参画など組織化を図り、多世代でプレーしたりコーチングしたりする体制を整備

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

〇生活困窮世帯(住民是非課税世帯)生徒への支援
・運営団体、実施主体の２段階会費制のうち、運営団体への入会金と年会費を全額助成並びに保険料の半額助成の実施
〇適正な費用負担の在り方の検討
・専門家(有識者)を含めた参加費を含めた「地域展開在り方検討委員会(仮称)」を発足せ、受益者負担と公的助成との適切な収支構造についての検証

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

〇運営母体
・既存の総合型スポーツクラブであるNPO法人格を取得した団体に業務委託していることで、初期投資はゼロである。

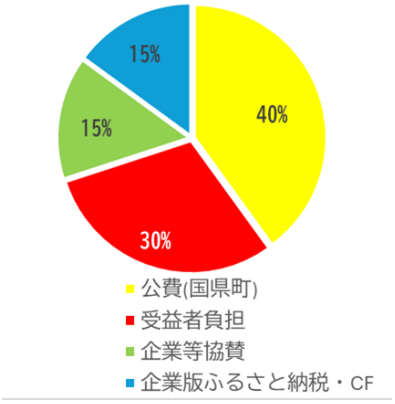
〇活動施設
・本事業を町の子育て施策に位置付けている関係により、町施設、学校施設の優先利用はもとより施設使用料は全額減免で運用している。

■ランニングコストの分析

〇主な運営維持経費項目
・指導者謝金(69.3%)
・備品費(8.3%)
・指導者等旅費(4.5%)
・需用費(4.5%)
〇今後の展望
・完全移行(地域展開)時には、これまで公費で担っていた教員の特殊勤務手当(4号業務)、中体連参加費及び旅費が、運営維持経費に含まれることとなり経費は増大予定

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

めざす歳入構造

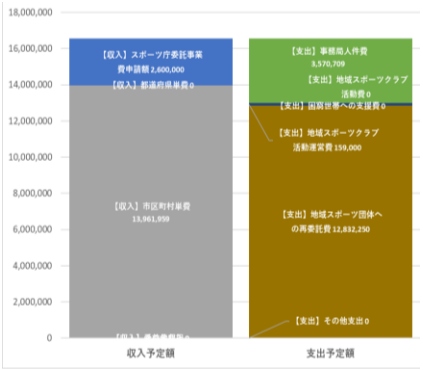


将来的に持続可能な収支を考えると、次の歳入構造を目指すこととする。

〇受益者負担　：30%
〇公的負担　：40%
〇企業協賛　：15%
〇ふるさと納税及びCF：15%

収支バランス

地域スポーツ活動にかかる収支構造 «R6»



将来的に持続可能な収支を考えると、次の歳入構造を目指すこととする。

〇受益者負担　：30%
〇公的負担　：40%
〇企業協賛　：15%
〇ふるさと納税及びCF：15%

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

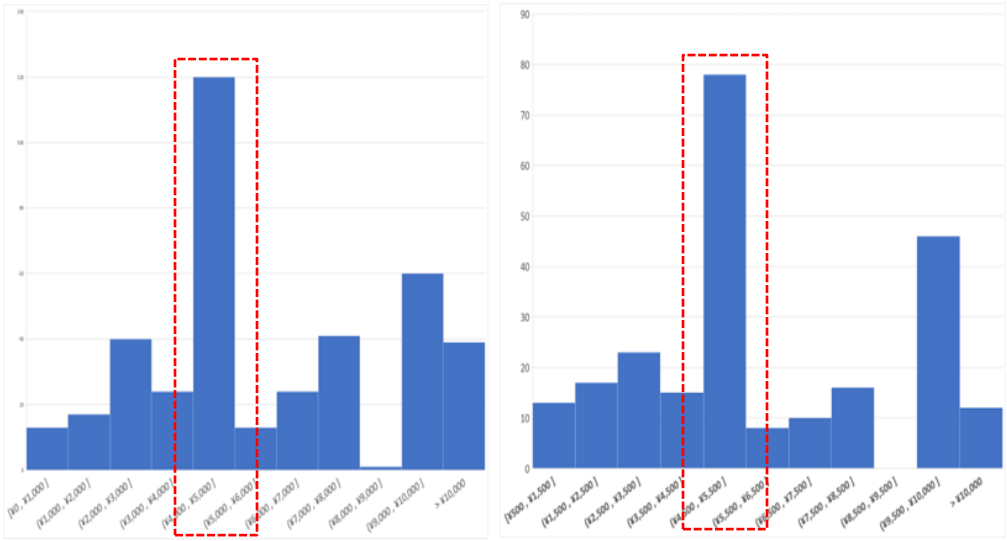
取組の成果

〇生活困窮世帯(住民税非課税世帯)生徒への支援
・運営団体、実施主体の２段階会費制のうち、運営団体への入会金と年会費を全額助成並びに保険料の半額助成の実施

〇企業版ふるさと納税制度を活用(R6.10実施)し、１社より10万円の寄付をいただいた。

〇適正な費用負担の在り方の検討
・専門家(有識者)を含めた「地域展開在り方検討委員会(仮称)」を発足させ、受益者負担と公的助成との適切な収支構造についての検証を実施するにあたり１月から庁内準備委員会の立ち上げ、次年度計画等の方向性等を共有予定
・定期的な保護者へのアンケート調査の実施により受益者負担の意識把握

高すぎて払えない受益者負担月額



R6アンケート調査結果より

今後の課題と対応方針

«課題»

〇適正な公費バランスの在り方について

〇民間資金の活用方策

〇保護者等へのさらなる啓発と理解促進

«対応方針»
〇企業版ふるさと納税のさらなる広報活動の推進
〇ガバメントクラウドファンディングの制度確立(R7.4)による財源確保
〇商工会や企業連絡協議会等からの寄付制度の確立による財源確保
〇寄付者へ税制優遇措置が図られる認定特定非営利活動法人格や一般社団法人格等の取得に向けた取組

2.実証内容と成果

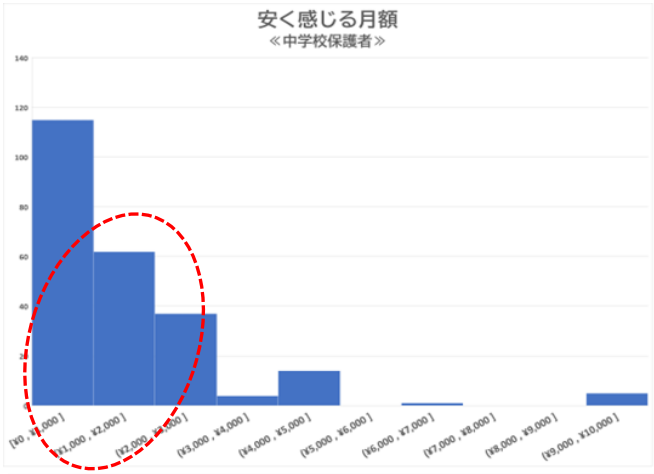
スポーツ庁

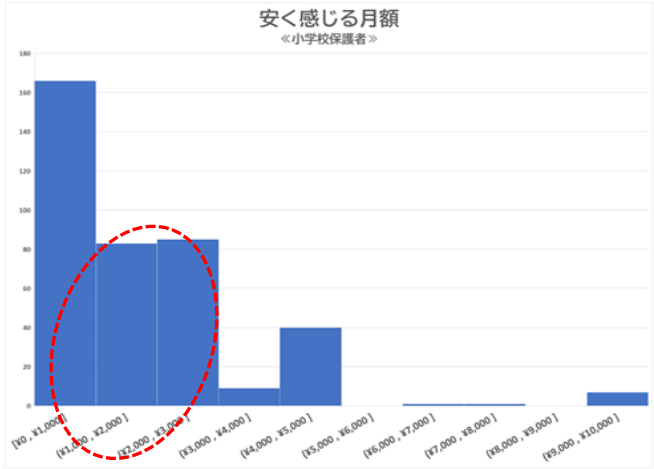
取組内容

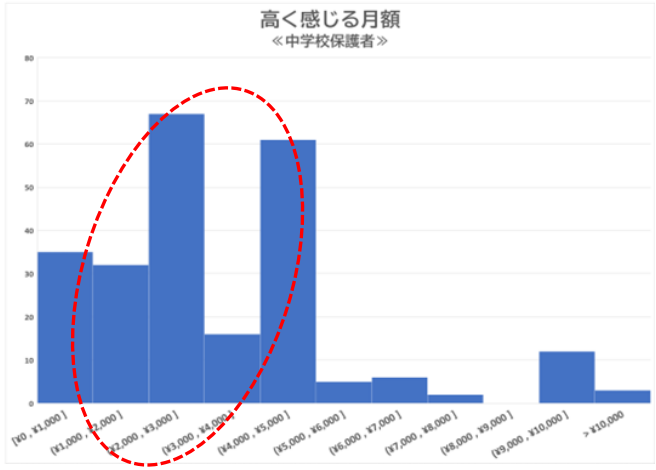
●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等③

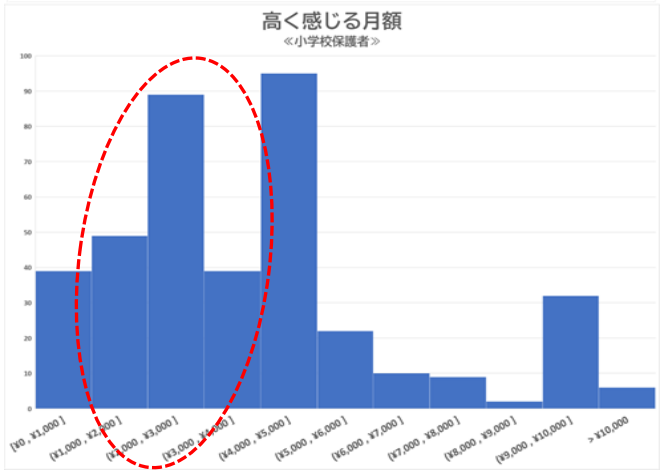
資料

受益者負担額調査(月額)
«R6アンケート調査結果より»









2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

〇地域移行クラブの施設使用の優先利用及び使用料減免(全額)制度の構築し施行

〇運営団体の町立スポーツ施設の指定管理者及び学校施設の業務管理委託契約の更新

〇設備、備品等の管理及び利用規程の整備

取組の成果

学校施設の効果的な活用や管理方法について、上述の取組を推進したことで次の成果(効果)があった。

〇地域スポーツクラブの活動の継続的で安定的な活動の保障の基盤が確立された。

〇地域スポーツクラブの活動の継続的で安定的な活動によるスポーツ活動のさらなる促進が図られた。

〇学校と地域クラブ備品等の区分けや利用ルールの制定し、適切な管理体制の基盤が確立された。

休日地域移行したサッカークラブ指導する地域指導者



今後の課題と対応方針

≪課題≫
〇学校施設における不審者対応
〇生徒の移動手段である自転車置き場の確保

≪対応方針≫
〇門扉及び体育館の学校施設の開閉方法についてのスマートキー等の導入の検討に向けた設計業務の取組
〇生徒の移動方法 (自転車)への対処策としての自転車置き場設計業務の取組

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ク：その他の取組

取組事項

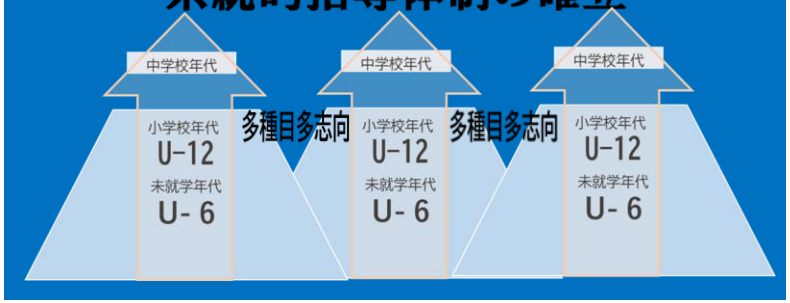
改革推進期間(段階的移行期間)後の完全移行(地域展開)を見据えて、次の項目に取り組んだ。

○平日のすべての部活動についても地域クラブ活動に移行し、地域での活動できる体制の構築
○地域クラブの活動日数を平日は２日程度に削減し休日中心の活動とし、週当たり16時間を限度とした活動の実施
○指導者の確保の点から地域クラブの活動時間帯を夜間に変更

取組の成果

○新設クラブが、３クラブ(体操、水泳、e-スポーツ)増え７クラブに増設
○休日移行の地域連携型クラブが、10部(R5)から19部に増加し、既存部活動が9部(R5)から１部に減少
○活動時間を平日放課後だけでなく、夜間(19時～)に変更し活動を開始するクラブの出現
・男子バレー　・男子バスケット
※ 現状は、運営体制図参照

播磨町が目指す縦・横の指導体制イメージ



指導者の属性や配置の工夫

○指導者の属性
(スポーツ：99名、文化：24名)
・地域指導者　　：46名
・兼職兼業教員　：49名
・兼職兼業公務員：　4名

○配置の工夫
・面接実施の上、適切に配置
・平日(夕方・夜間)、休日等の希望を考慮し練習計画に基づき配置

一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

本町では、中学生が持続可能で適切なクラブライフを送れる環境を整備するため、小学生からの『9年間を見据えた系統的指導体制の確立』を目指している。

そのため、子供達を地域の組織で見守ることを最需要課題として取り組んでいる。現在、その体制が整備されているのは次の実施団体である。

«新設創設クラブ»
・剣道　・少林寺拳法　・ハンドボール　・ダンス　・体操　・水泳　・e-スポーツの地域展開されているクラブである。

«地域連携型»※休日移行19部
実施団体の組織が整備された段階で、完全(平日)移行する予定である。

今後の課題と対応方針

«課題»
○地域指導者が参画できる時間帯と活動場所の確保

«対応方針»
○平日の放課後からへ夜間に変更するとともに、将来的に活動場所の確保の点から学校施設(運動場・テニス場)の照明設備の導入を検討し活動時間、場所の確保に努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保　／　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項（イ）

≪質の保障≫
〇日本スポーツ協会(JSPO)、競技団体(NF)の公認資格取得助成に関する取組【再掲】
≪量の確保≫
〇連携協定締結大学の人材活用
〇コミスクや地域関係者を通じた情報収集や募集

取組の成果（イ）

≪質の保障≫
〇日本スポーツ協会(JSPO)、競技団体(NF)の公認資格取得助成により６名が取得予定
※　計９名の資格保有者で運営【再掲】

≪量の確保≫
〇連携大学の人材活用
・ハンドボール部監督１名、選手１名が臨時コーチとして参画
〇コミスクや地域関係者を通じた人材発掘
・ソフトボールに参画予定【再掲】

第4回指導者講習会
テーマ：「チームマジメントについて」
講 師：流通科学大学　准教授　内田　遼介　氏



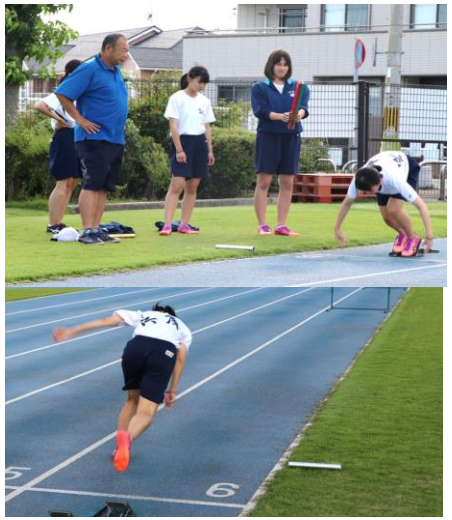
取組事項（ウ）

〇学校との連携促進【再掲】
〇教員の働き方改革の取組推進【再掲】
〇競技団体や民間団体等の連携促進【再掲】

取組の成果（ウ）

〇19の運動部が18部まで地域連携型クラブ(休日)に移行完了
〇平日、休日の指導における教員と地域指導者との業務の明確化が図られ、教員の超過勤務時が減少
（R4年度比：7.5h/月）
〇スポーツ協会や民間団体の参画を得て、スポーツ系地域クラブを新たに７クラブ創設
〇スポーツ系地域指導者として99名を確保
・地域指導者：46名
・兼職兼業指導者：53名【再掲】

スタート練習を見守る地域指導者
≪R7から地域展開する陸上競技クラブ≫



今後の課題と対応方針

≪課題≫
〇研修会参加者の満足度は多いものの、は毎回教師の参加が少ない。
〇系統的指導体制の構築
〇兼職兼業教員のさらなる意識改革【再掲】

≪対応方針≫
〇次年度以降は悉皆研修とし、一定の参加率出席者及び認定試験合格者に町独自の認定書を交付することを検討【再掲】
〇組織で子供達を見守るため、スポーツ協会への加盟促進目指し、持続可能の体制整備【再掲】
〇中学校教員のさらなる意識変容に向け、コーディネーター中心に学校との協力体制の構築【再掲】

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

«実施事業項目»

〇連携クラブ(休日地域クラブ)から地域クラブへの移行数及び新設クラブ数
・新設クラブが**３つ誕生**し**７クラブ**となり、目標値の８クラブには至らなかったが、概ね達成と捉えている。

〇既存部活動数
・**残り１部**となり、目標値の３部を大きく上回った。

〇生徒の満足度調査
・５項目の調査結果の平均値が**88.4%の肯定的意見**があり、目標値の80%を上回った。

«重点地域項目»

〇８分類14項目の設定数値目標のうち、次のような結果となっている。
・**7分類 ：S評価**(達成率100%以上)
・**1分類 ：B評価**(達成率 60%以上)
・**11項目：S評価**(達成率100%以上)
・ **1項目：C評価**(達成率 60%未満)

〇C評価の体育会系の大学生アシスタントスタッフの登用数では、目標値15人以上であったが5人にとどまり大きく下回っている。

〇今後は、連携大学をはじめ近隣及び神戸地区の大学に募集するなど、周知方法を工夫し登用数を増やしていくこととする。

※詳細は、字頁の「令和６年度達成目標及び達成状況」を参照

●成果の評価

〇総括で述べたように当初掲げた数値目標は概ね達成できたが、短期目標である生徒の選択肢を増やし多様なスポーツ活動の環境づくりの「新設クラブ数」は順調に伸びている。

〇しかし、既存部活動から休日移行(地域連携型)、さらには完全地域展開(地域クラブ)へと移行するには、運営団体及び実施団体の機能強化が急務である。

〇この課題を解決するため、運営母体の在り方検討や指導者の資格取得助成制度の充実、競技別指導体制の充実など、新たなスポーツ環境の整備を地域総がかりで推進いかなければならないと考える。

●今後に向けて

〇中学生にとって、持続可能で適切なクラブライフを送れる環境整備に向けて、小学生から９年間を見据えた系統的指導体制の確立を目指して、運営団体、スポーツ協会及び実施団体の機能強化が喫緊課題と考える。

〇このためには、指導者や運営スタッフをはじめ地域クラブ活動を支える人材育成システムなどの仕組みづくりが必要と考える。

〇また、本町は本事業を子育て重要施策の一つとして位置づけ推進しているが、今後将来的に持続可能な事業とするため、運営経費、受益者負担及び公的資金の適切なバランスを検証していく必要がある。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

令和６年度達成目標及び達成状況

S…十分に達成(達成率：100％以上)　A…ほぼ達成(達成率：80％以上)　B…やや不十分(達成率：60％以上)　C…不十分(達成率：60％未満)

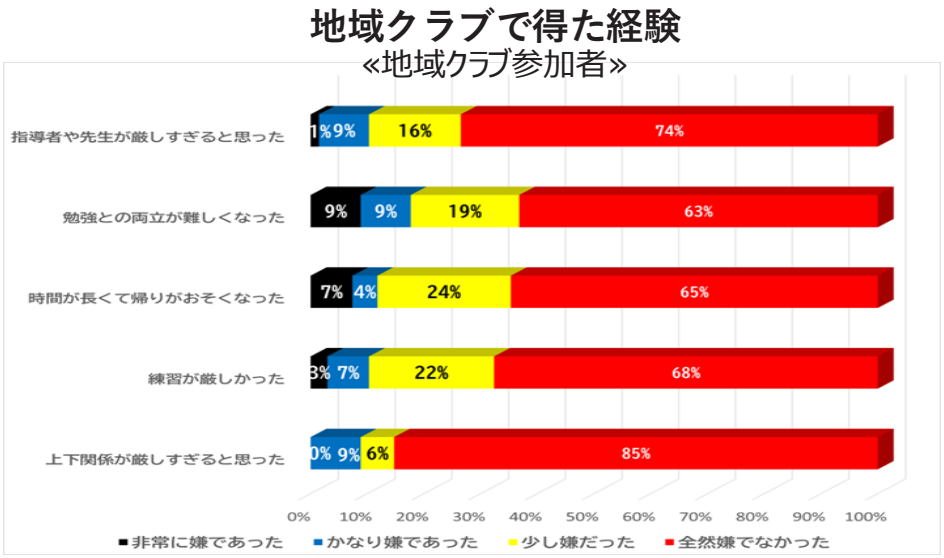
（１）　実証事業項目		R６年度目標値	結果	達成率	評価
○連携型クラブから地域クラブへの移行及び新設数	新設３＋R5設置済４＝７	8 部	7 部	87.5 %	A
○新設クラブ及び連携型クラブへ移行後の既存運動部数	播磨中男子ソフトテニス：１	3 部	1 部	300.0 %	S
○地域クラブ及び連携型クラブ員へのアンケート調査による満足度	５項目平均値：88.4%	80.0 %以上	88.4 %	110.5 %	S
（２）　重点地域項目		**R６年度目標値**	**結果**	**達成率**	**評価**
①　多様なスポーツ体験の機会の提供				**166.0 %**	**S**
○連携型クラブから地域クラブへの移行及び新設数(再掲)	新設３＋R5設置済４＝７	8 部	7 部	87.5 %	A
○新設クラブ及び連携型クラブへ移行後の既存運動部数(再掲)	播磨中男子ソフトテニス：１	3 部	1 部	300.0 %	S
○地域クラブ及び連携型クラブ員へのアンケート調査による満足度(再	５項目平均値：88.4%	80.0 %以上	88.4 %	110.5 %	S
②　高校(県立播磨南高等学校)及び特別支援学校(県立東はりま特別支援学校)との連携促進				**110.0 %**	**S**
○多世代型イベントの年間開催数　５回	モルック、ダーツ、ハロウィン、卓球、餅つき、RR、3on3	5 回	7 回	140.0 %	S
○多世代合同練習会の開催競技種目数	ハンド、剣道、少林寺、陸上	5 競技等	4 競技等	80.0 %	A
③　ジュニアからシニアまでの多世代での取組				**110.0 %**	**S**
○多世代型イベントの年間開催数(再掲)	モルック、ダーツ、ハロウィン、卓球、餅つき、RR、3on3	5 回	7 回	140.0 %	S
○多世代合同練習会の開催競技種目数(再掲)	ハンド、剣道、少林寺、陸上	5 競技等	4 競技等	80.0 %	A
④　不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割				**115.8 %**	**S**
○不登校や障害のある児童生徒を対象とした地域の学びの場の確保数	各コミセン・中公・ふれあい：６、民間(e-Sports)：１	7 ヵ所	7 ヵ所	100.0 %	S
○地域の学びの場への不登校や障害のある児童生徒の参加数	コミセンサテライト：103、e-Sports：320	200 人以上(延べ)	263 人以上(延べ)	131.5 %	S
⑤　トレーナーの活用を含めた安全確保の体制構築				**209.0 %**	**S**
○トレーナーとの連携締結及び相談窓口設置による安全体制の構築：相談件数	トレーナー：なし、相談窓口：SC：298件	100 件以上	298 件以上	298.0 %	S
○年間5回開催予定の指導者講習会の参加者満足度	肯定的意見：96%、否定的意見：4%	80.0 %以上	96.0 %以上	120.0 %	S
○公認スポーツ資格取得者数(助成予定含む)	陸上３、ソフトテニス１、卓球１、バレー１	3 名以上	6 名以上	200.0 %	S
⑥　アスリート人材等の活用(体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等)				**66.7 %**	**B**
○体育会系大学生等をアシスタントスタッフとしての登用数	ソフトテニス2、バスケ1、ハンド1、剣道1	15 名以上	5 名以上	33.3 %	C
○大学教授等による各競技別教室(クリニック)の年間開催数	流科大：生徒1 回、指導者１回　トップA：生徒１回	3 回以上	3 回以上	100.0 %	S
⑦　地域スポーツの活動の拠点整備(学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化)				**150.0 %**	**S**
○学校体育施設及び町立スポーツ施設における地域スポーツクラブの優先利用等の制度確立(拠点施設数)	学校体育施設：12　公共スポーツ施設：３	10 施設以上	15 施設以上	150.0 %	S
⑧　民間資金の活用(企業版ふるさと納税等を含む)				**100.0 %**	**S**
○クラウドファンディング型ふるさと納税及び企業版ふるさと納税≪部活動地域展開≫の仕組構築(納税額)	企業版ふるさと納税：１口：１０万円	10 万円以上	10 万円以上	100.0 %	S

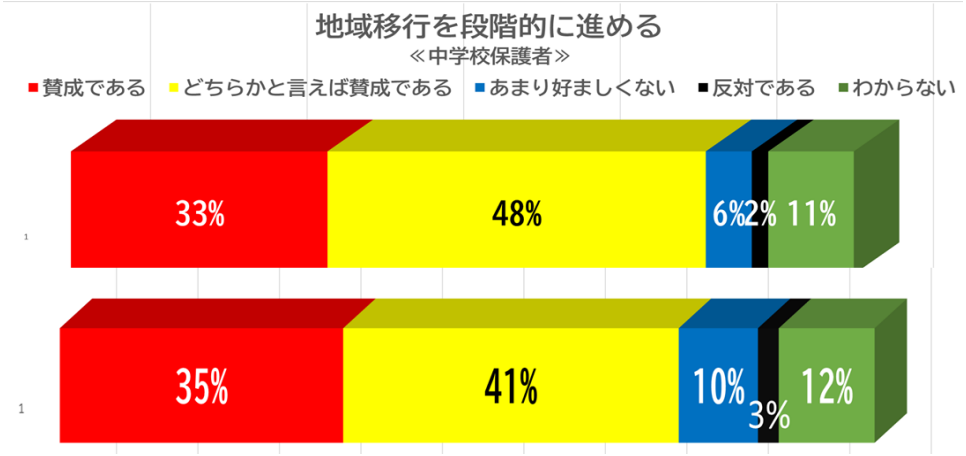
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果





●参加者の声

中学２年生

播磨中と播磨南中の連携を取って早く進めてください。
その際には、不利にならないようにしてください。これからのためにもしてください。

中学２年生

播磨町の体育館の使用時間を増やしてください。圧倒的に練習する時間が足りないです。試合でもっと勝ち続けるためにも時間を増やしてください。

中学生保護者

教員の負荷低減に部活動の地域クラブ移行は、同じ労働者の目線から見て賛成です。
ただし、部活動の指導にやり甲斐を感じて熱心に活動されている指導者から無理に仕事を引き剥がすの事に反対です。
現在の指導者は非常に熱心に指導されている方が居られるので、地域クラブ指導者として、適切に指導して頂き、しっかりとした報酬を支払っていただきたい。

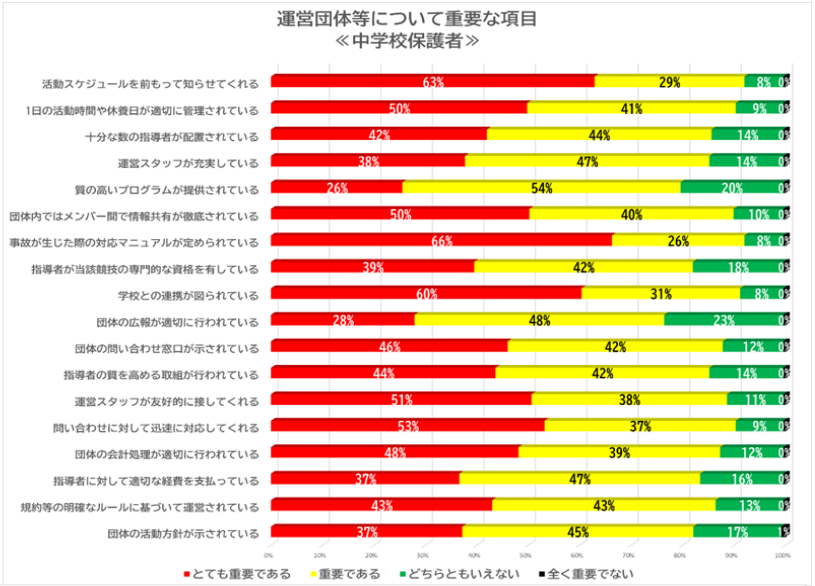
小学生保護者

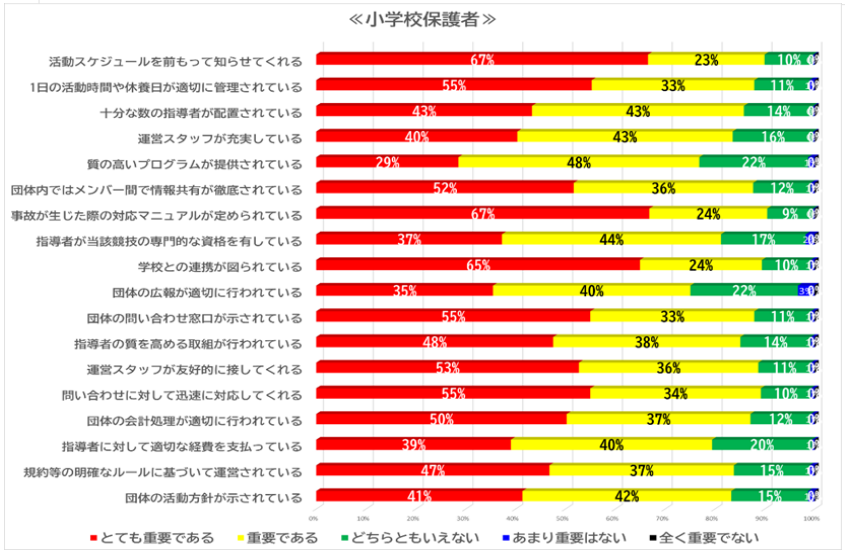
指導者を決めるにあたって、しっかり人格を判断して、モラハラやセクハラ、パワハラなどのハラスメントがないようにしてほしいです。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果





«R6年度アンケート調査結果より»
小中学生の保護者に適切なスポーツ・文化芸術環境の整備について、運営団体・実施団体が運営することにおいて重要視する点を尋ねたところ、左図のようになった。
暖色系の色が肯定的意見、寒色系の色を否定的な意見として区別している。
重要と考えている点を大きく分類すると、「指導業務」、「管理業務」、「ガバナンス」が挙げられる。

«指導業務»
〇活動時間・日数の遵守や十分な指導員の配置など、安全管理の構築が求められている。

«管理業務»
〇責任者を定め、問い合わせ窓口を明確に提示することが必要である。
〇年間、月次のスケージュールを事前に知らせるなど、適切に情報提供し十分なコミュニケーションを求められている。

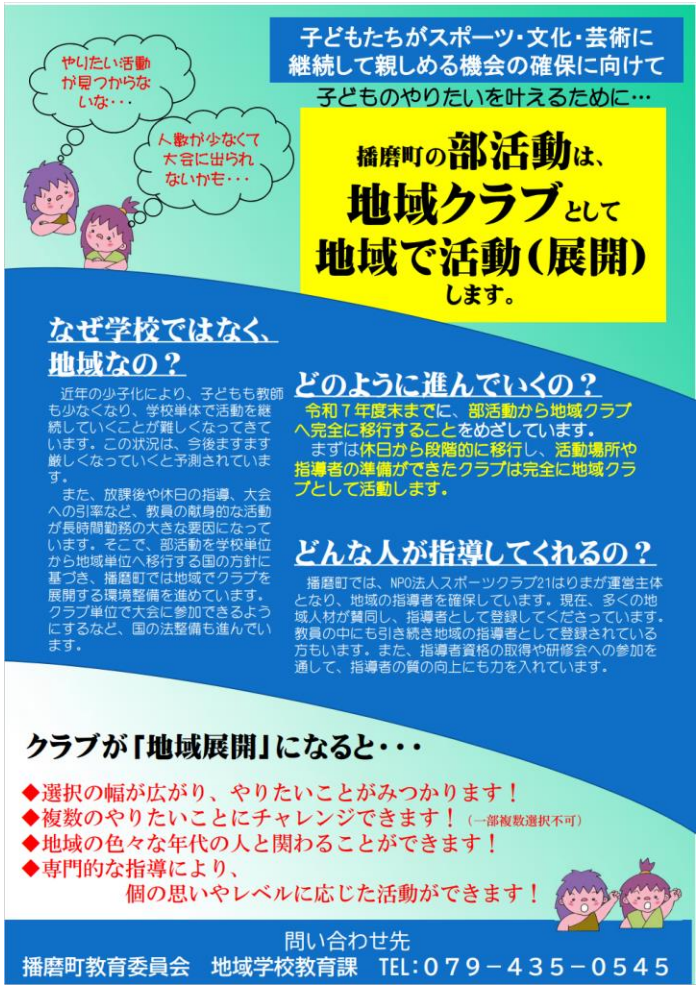
«ガバナンス»
〇活動方針の提示、規約の制定やルールに基づいた運営、適切な会計処理などの説明責任が求められている。
〇特に、活動中の病気や事故の対応については、マニュアルを制定し適切に対応することが求められている。

【調査概要】
〇調査主体：播磨町教育委員会
〇調査期間：令和6年12月16日～12月25日
〇調査方法：WEB調査
〇調査対象：小学生4年生以上(78.3%)、中学生全員(85.6%)
・回収率　保護者(30.8%)、教員(66.3%)

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料



【保護者向け啓発チラシ】



【地域指導者募集チラシ】

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料

播磨町の中学校部活動＆地域クラブ一覧

2024年9月現在

さらに詳しい情報はこちら▶

既存部活動地域連携型

所属	部活動名	月	火	水	木	金	土	日	朝練	主な大会・発表会	揃える用具
既存部活動地域連携型	サッカー	○	○		○	○	どちらか			郡総体・新人戦・東播リーグ・加印トーナメント・長谷川杯・高円宮杯	ユニフォーム・スパイク など
	野球	○	○		○	○	どちらか			郡総体・新人戦・夏季大会・秋季大会 など	ユニフォーム・スパイク・グローブ など
	男子バレーボール	○	○		○	○	○			郡総体・選抜優勝大会	シューズ・サポーター・ソックス・Tシャツ など
	女子バレーボール	○	○		○	○	○			郡総体・新人戦・東播優勝大会・東播選手権大会	シューズ・サポーター・ソックス・Tシャツ など
	男子バスケットボール	○	○		○	○	○		自主練	郡総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモスカップ	シューズ・ビブス・Tシャツ など
	女子バスケットボール	○	○		○	○	○		自主練	郡総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモスカップ	シューズ・バスケットパンツ・チームTシャツ(任意) など
	男子ソフトテニス	○	○		○	○	○			郡総体・新人戦・フレッシュカップ・のじぎくカップ・学年別大会	ユニフォーム・シューズ・ラケット など
	女子ソフトテニス	○	○		○	○	○		自主練	郡総体・新人戦・学年別大会・その他各種招待試合	ユニフォーム・シューズ・ラケット など
	卓球	○	○		○	○	○			郡総体・新人戦・カデット大会・東播親善大会・バタフライカップ など	ユニフォーム・ラケット など
	陸上競技	○	○		○	○	○		○	郡総体・県総体・近畿大会・全国中学校総体	ユニフォーム・スパイク など
	吹奏楽	○	○		○	○	○		自主練	吹奏楽コンクール・コスモ吹奏楽祭・加印連合音楽会・アンサンブルコンテスト など	楽器のお手入れセット代 など
	ESS	○	○		○	○				スピーチコンテスト	なし
	美術	○	○		○	○				各コンクール・総合文化祭・県造形教育展	なし
	ソフトボール	○	○		○	○	○			郡総体・東播親善大会・県支部対抗大会・播但大会・全日本予選 など	ユニフォーム・スパイク・グローブ など
	サッカー	○	○		○	○	○		自主練	郡総体・東播中学校 U-13 大会・東播リーグ・加印トーナメント・長谷川杯 など	ユニフォーム・スパイク など
	野球	○	○		○	○	どちらか			郡総体・新人戦・議長旗大会・加古川春季大会・東播親善大会 など	ユニフォーム・スパイク・グローブ など
	女子バレーボール	○	○		○	○	○			郡総体・新人戦・東播総体	シューズ・サポーター・ソックス・Tシャツ など
	男子バスケットボール	○	○		○	○	どちらか		自主練	郡総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモスカップ	シューズ・Tシャツ・バスケットパンツ など
	女子バスケットボール	○	○		○	○	どちらか		自主練	郡総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモスカップ	シューズ・ビブス・練習着 など
	男子ソフトテニス	○	○		○	○	○		自主練	郡総体・春季大会・フレッシュカップ・のじぎくカップ など	ユニフォーム・シューズ・ラケット など
	女子ソフトテニス	○	○		○	○	○			井口杯・東播オープン・万葉杯・東播親善大会	ユニフォーム・シューズ・ラケット など
	卓球	○	○		○	○	○			郡総体・新人戦・東播カデット大会・東播親善大会・東播選手権大会	ユニフォーム・ラケット など
	陸上競技	○	○		○	○	○		○	郡総体・東播総体・県総体・近畿大会・全国中学校総体 など	ユニフォーム・スパイク など
	吹奏楽	○	○		○	○	○		自主練	吹奏楽コンクール・コスモ吹奏楽祭・加印連合音楽会・アンサンブルコンテスト など	楽器のお手入れセット代 など
	美術	○	○		○	○				県総合文化祭・文化祭・体育大会シンボルマーク作成	なし

※活動曜日・時間は基本的な日時です／大会・練習試合により変更の場合があります　※各部定められた部費や競技団体登録費などの費用が発生する場合があります

地域クラブ創設型

部活動名	クラブ名／運営団体名	月	火	水	木	金	土	日	活動場所	主な大会・発表会	部費	別途費用／揃える用具
剣道	播磨剣道クラブ	放課後			放課後			17:00-20:00	播磨中学校武道場／総合体育館	全国道場少年県選大会 など	¥1000／月	連盟登録／竹刀・道着袴・防具 など
少林寺拳法	播磨町少林寺拳法協会						13:00-17:00		播磨南中学校武道場／播磨南道院専有道場	少林寺拳法全国大会 など	¥2000／月	連盟会費／スポ少年団員登録／道着
ハンドボール	Joseph 蓮池	16:00-18:00	16:00-18:00		16:00-18:00	16:00-18:00	練習試合等		播磨小学校体育館	東播大会・新人戦 など	¥2000／月	なし
ダンス（ジャズダンス）	ダンシングチームKIRARAクラブチーム			19:00-20:00					中央公民館大ホール	町内各種イベント など	¥2800／月	衣装を購入する場合
体操	ハート体操クラブ	18:00-20:00					13:00-17:00		播磨西小学校体育館	中体連の大会 など	¥2500／月	なし
水泳	いさいきクラブ			19:00-20:00					いさいきセンター屋内プール	アクアティックミート（年1回）	¥1000／月	なし
eスポーツ	OPONAKA TRIDENTs					17:00-19:00			e-Sports Place 集会所	町内の大会・公式大会	¥2000／月	なし
Jrリーダー	ボランティアクラブ T・Y・A				会議			イベント等	中央公民館／各イベント開催場所	地域イベント主催 など	¥200／月	なし
芸術	ニュー☆ハリマ芸術部		16:00-18:00				10:00-12:00		ニュー☆ハリマ図書室／中央公民館実習室	町内での主催展覧会（年1回）	なし	各自必要な材料費・ワークショップ参加費
理科（Science）	放課後理科クラブ			16:00-17:00					（播磨中学校）／播磨南中学校	サイエンスショー補助 など	なし	材料費等発生する場合有り
書道	放課後書道クラブ		17:00-21:00						東部コミュニティセンター	希望があれば	¥2000／月	競書雑誌等に出品する場合
いけばな	播磨町いけばな協会				18:00-20:00				中央公民館	文化祭があれば参加したい	¥2000／月	なし（マイバサミ）
茶道	播磨町茶道協会	16:00-18:00							中央公民館和室	なし	¥800／月	なし（茶巾・茶せん・ふくさ等貸出可）
将棋	将棋探求クラブ				16:00-18:00				中央公民館	将棋大会（期末） など	¥300／月	なし
伝統芸能	古宮獅子舞の会	5~8月：土9:00-12:00／9~3月：土9:00-12:00							古宮公民館／播磨南小学校	古宮住吉神社秋祭り など	なし	なし
民踊・三味線・太鼓	伝承民族芸能文化協会	希望もしくは話し合い							中央公民館／学校	日本民踊西近畿連合大会 など	¥1000／月	浴衣・指ぬき（三味線・太鼓等貸出）

※活動曜日・時間は基本的な日時です／隔週で活動のクラブもあります　※新設クラブ創設型はすべて、スポーツクラブ21入会・年会費：¥2500（剣道・水泳は別途スポーツ安全保険 ¥400）が必要です

読者アンケート
ご協力
お願いします！

「3×3 NO.5」のアンケートにご協力お願いします。ご回答者から抽選で9名（3×3なだけに！）の方に播磨町オリジナルグッズをプレゼント！
また、アンケートフォームでは「3×3」住民ライター参加者も募集中です。

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます



▲播磨町オリジナルグッズ（例）

3×3 トリビア



由来に諸説あり！「うなぎ井戸跡」

住宅地にフッと現れる「古宮村 うなぎ井戸跡」。玉垣で囲まれた敷地内には、小さな祠と石で埋められた長方形の井戸跡が残ります。

「うなぎ井戸」という名前の由来は、「井戸の横にある祠を歯痛治しの信仰の対象とし、うなぎを持ってお参りに行き井戸に放したから」、「井戸にしては細長い形をしているから」など、諸説言い伝えられています。

江戸初期には「古宮千軒、お寺が４カ寺」と言われるほど大集落だった古宮村の中央に位置する井戸は、多くの村人に愛用されてきたといいます。

当時は住民の多くが農業と漁業の兼業で生計を立てていましたが、好漁場の播磨灘のおかげで漁業が専業化するにつれ、集落が海岸近くへ移ったため、井戸だけがこの地に残されたと考えられているそうです。

（参考：「古宮の古井戸」説明板／播磨町教育委員会）

バックナンバーはこちら

3×3は、住民ライターが書いています！

すきなこと、したいことを深めながら、地域で知り合いが増えていくっていいなあー！　by け（子：6歳＆3歳）

町内二つの中学校の学生が一緒になって活動。校区外に広がる仲間の輪っていいですね。　by ま（子：5歳＆3歳）

我が子もこれから関わるであろうクラブのことを知ることができ、興味深かったです。　by か（子：10歳）

3×3の規模感をいかした新しい部活動のあり方、今後も注目していきたいです！　by 編集き（子：5歳）

3×3（さんカケさん）播磨町のちょっといいとこ NO.05
発行：2024年9月24日　播磨町役場
TEL 079-435-0355（代表）／079-435-0356（企画課）
編集：播磨町企画課・特定非営利活動法人ニュー☆ハリマ

兵庫県で一番小さなまち、播磨町。
面積：約3km×3km（≒9.13km²）にある、色んな「ちょっといいとこ」をお届けします。
新しく住む人もこれまで住んできた人も、ずっと保存したくなる播磨町の場所・人・ことに出会ってください。

No.05

さんカケさん
3×3
播磨町のちょっといいとこ

特集　どう変わる？中学校の部活動



地域の大人と一緒に取り組む、新しいスタイルの全貌を紹介！
PICK UP「既存部活動地域連携型」とは？
3×3ライターが気になる「地域クラブ」をのぞいてきました

播磨町の中学校部活動＆地域クラブ一覧
3×3トリビア ―― 由来に諸説あり！「うなぎ井戸跡」

【令和6年10月公報折込チラシ】

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料

特集

どう変わる？中学校の部活動



全国で中学校部活動のあり方が問われている今、播磨町でも中学校の部活動が変わり始めています。地域の大人と子どもが一緒に取り組む新しいスタイルについて、気になっている人も多いはず。今回、その全貌を調査しました。

播磨町の二つの中学校では、部活動の種類の少なさや、経験のない教師が指導する状況が課題となっていました。生徒たち一人ひとりにとって質の高い部活動を続けていくために考えられたのが、部活動の運営主体を学校から地域に移行する仕組みです。

現在はちょうど過渡期。既存の部活動で地域の大人が指導を行う「既存部活動地域連携型」と、地域の大人が運営する「地域クラブ創設型」の２種類があり、部活動が地域クラブ活動へ移ったり、新たな種目・分野の地域クラブが誕生したりしています。教育委員会によると、早ければ令和８年度には、全ての部活動が地域クラブに切り替わる予定だそうです。

それが叶うのも、3×3km という播磨町の規模感ゆえ。通う学校による体験格差をなくし、町内で自分が生涯取り組みたい文化やスポーツと出会い、地域の大人と一緒に楽しく取り組む。生徒たちの将来まで見据えた設計になっています。

既存部活動 地域連携型

各中学校でこれまで活動してきた部活動に、種目や分野の経験が豊富な地域の大人が指導に来てくれます。顧問の先生とは違った視点でより専門的なアドバイスをもらえるだけでなく、一緒に楽しく練習することで学べることもたくさん。

地域クラブ 創設型

地域の大人が主体となり活動する地域クラブは、スポーツから文化、芸術まで、部活動になかったような種目・分野が続々と誕生。年齢に関係なく、地域の人が一緒に活動することを大事にします。将来的には部活動も地域クラブに移行予定。

地域連携型 現状の紹介

町内二つの中学校にもともとあった部活動では、各種目や分野の経験者である地域の大人が「中学生と一緒に活動したい！」という思いで、有償ボランティアの指導員として活動に参加します。顧問の先生と連携しながら、経験者ならではの知識をいかしたアドバイスをくれたり、一緒に練習をしたり。指導員は教育委員会の研修や講座を受けており、中には指導者資格を持つ人もいます。

播磨中学校 卓球部 PICK UP



2021 年 4 月から週 3 回程指導をしている井下原哲生さん。中学・高校で卓球部に所属し、再び卓球を始めたのは 48 歳。長い卓球経験の中、指導は初めての経験だそう。一人ひとりに合わせた指導をしています。

播磨南中学校 サッカー部 PICK UP



2023 年 4 月からゴールキーパーの指導を始めた沼田和司さん。高校からサッカーを始め、40 代の頃に兵庫県代表で全国大会へ 4 度出場し、2004 年全国優勝。播磨町のサッカー協会の一員でもあり、わかりやすく指導しています。

※2024年9月現在の情報です

地域クラブ創設型 現状の紹介

部活動の完全地域移行へ向け、地域の人たちが世代を超えて一緒に活動するユニークなクラブが続々と創設中。年齢にかかわらず参加できるので、中学卒業後も続けることができます。

3×3ライターが気になる！ 地域クラブをのぞいてきました

理科 放課後理科クラブ



塾講師であり実験教室なども開催している指導員が、生徒一人ひとりのやりたいことに焦点を当て活動計画を立ててくれます。指導員持参のたくさんの書籍（絵本や漫画も！）を用いてじっくりと学んだのち、実験を通して体感するので、より理解が深まること間違いなし。長期休みなどに開催される小学生向けのサイエンスショーや実験教室では、助手を任されるかも？知識も経験も豊富な指導員との会話は面白く、理科大好き・好奇心旺盛な生徒にはぴったりのクラブです。（by か）

体操 ハート体操クラブ



中学校３年間で、バク転や転回とびができるようになることを目標に、鉄棒・跳び箱・マットをメインに練習します。秋には大会にも出場。練習は、柔軟・エアマット（空気が入ったマット）を使った基礎練や技の挑戦など、個人の目標に合わせて進めます。初めて技が決まると部員同士で拍手し合う姿も。高校生のボランティア指導員も参加し、一緒に練習したり、お手本を見せたりしてくれます。体の使い方や柔軟性を身につけることは、体操以外のスポーツにも役立つそう。自分の体をうまく操って、色々な技に挑戦してみませんか。（by け）

茶道 播磨町茶道協会



「一生懸命お点前していると無になれる」。茶道の魅力をそのように話す指導員は、茶道歴 65 年。高校 3 年生のときに感じたその思いは変わることなく、長年ご自身が向き合ってきた“お茶”を伝えたいという思いで指導しています。伝統文化だからと難しくとらえず、和室でも膝を崩して大丈夫。1年後にはお点前ができるように丁寧に教えてくれます。海外ファンも多い日本のお茶。茶道を体験していると、将来役に立つ場面がきっとありますよ。（by ま）

eスポーツ OPONAKA TRIDENTs



クラブでは、3 種類のゲームをそれぞれのチームで練習し、オフライン大会にも出場します。他のスポーツ同様、e スポーツもチームの連携が大切な競技。練習中は、各自の画面を見ながらも、仲間と声をかけあって取り組むので、部屋には生徒たちの明るい声が響きます。クラブで大切にしているのは「競技者」としての心を伸ばすこと。日頃から、姿は見えなくても画面の向こう側には人がいることを意識しています。また、違いゲーム展開に対応するため一人ひとりが「考えを言語化する」ことも練習中だそう。自分の考えを言葉にし、仲間と共有する経験をくり返しながら、チームとしてひとつになっていくことを目指しています。（by け）

芸術 ニュー☆ハリマ芸術部



指導員は芸大出身で、絵を描くことが大好き。教えることはもちろん、生徒と一緒に活動していくことがとにかく楽しいと話します。デッサンや色彩構成など、絵画の基礎力を身につける課題に取り組むこともありますが、ゆるいタッチのイラストから立体工作まで様々なジャンルの芸術を体験しながら、描きたいもの、創りたいものをみんなで話し合い、自由度の高い制作活動に取り組んでいます。いずれはデジタルアートや動画編集、舞台芸術などにも挑戦し、生徒たちに自分の好きな芸術表現を見つけ楽しんでほしいそう。各中学校の美術部とも連携し、年に一度は町内で展覧会も開催しています。（by か）

ダンス ダンシングチームKIRARAクラブチーム



指導員は、創設 40 年の歴史があるダンシングチーム KIRARA の先生。地域のイベントにも多数出演しており、発表を見たことがある方も多いかもしれません。輝くチームメンバーの仲間入りをしてみたい！と思ったことはありませんか。「いつでもウェルカムです」と話す指導員。ダンスが初めてでも、始めは初心者と経験者に分かれて練習を進めるのでご心配なく。全員での柔軟、アップ体操の後は、レベルに合わせて楽しくレッスンします。（by ま）

Jrリーダー ボランティアクラブ T・Y・A



指導員は小学生を対象とした居場所づくりやイベント開催など、長年にわたり播磨町で精力的に活動してきた方々。そんな指導員たちや地域の人たちと共に「楽しみながら＝T」、「やりがいを感じ＝Y」、お互いに「ありがとう＝A」と言えるような体験の場を目指していま す。地域のイベントでスタッフとして活動するだけでなく、部員が企画したイベントを開催することも。たくさんの人と関わることで、いろいろな価値観に触れることができます。コミュニケーション力を磨きながら、地域とつながっていけることでしょう。（by か）

もっと知りたい人は→

【令和6年10月公報折込チラシ】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）

民間施設との連携
«e-スポーツクラブの活動の様子»

・活動場所は地域の民間施設

・指導者は施設の経営者







・自分を発揮できる居場所

・インクルーシブな活動の実現

【毎週木曜夕方に約20名ほどの不登校生徒や不登校傾向生徒、特製のある子供たちがオフラインで活動】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）

連携大学の監督･学生と一緒に練習するハンドボールクラブ
≪流通科学大学体育館≫





【大学連携の取組例】

ハンドボールクラブ
≪小学校時代に県大会優勝、全国大会出場の実績のある地域クラブ≫



・指導者は小学校の教員と地域人材・教員の兼職兼業制度の活用



【創設型地域クラブ】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）

地域指導者に指導を受ける生徒達



【女子バスケットボール】



【女子ソフトテニス】

地域指導者に指導を受ける生徒達



【剣道】



【女子ソフトテニス】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年

協議会設置
検討開始

令和６年～令和７年

部活動地域展開(地域クラブ)への段階的移行
・運営団体の機能充実・指導者の質の向上及び量の確保・活動場所の確保
・適切な会費の検討・教職員制度の効果的な活用・保護者等への啓発と理解促進

令和８年～令和10年

地域クラブへの完全移行

●ステークホルダー
・保護者、運営団体、スポーツ関係団体、学校地関係者、有識者

●経過
年間5回の開催

●課題
・指導者の量の確保と質の向上について

●実施内容、工夫した点　等
・「部活動地域移行推進計画策定委員会」を兼ねての実施運営
・指導者の量の確保と質の向上について
・関係団体、分野との連携強化について
・保護者の負担軽減について
・関係者への意識調査の実施について
・活動場所の確保について
・大会への参加・運営の在り方について

●ステークホルダー
・生徒のニーズ

●経過
・意識調査の実施
(満足度調査等)

●課題
・部活動数の少なさ
・有資格者による指導

●実施内容、工夫した点　等
・地域クラブでの多種多様な活動展開
・公認資格取得助成制度を確立し、有資格者の養成、確保
・兼職兼業制度を活用し、意欲があり指導力のある教員を登用

●ステークホルダー
・保護者のニーズ

●経過
・意識調査の実施
・協議会等での意見聴取

●課題
・受益者負担への理解
・教育効果の継承発展

●実施内容、工夫した点　等
・有資格者による専門的指導の受益
・教育価値を提供できる指導者の養成、確保

●ステークホルダー
・教員のニーズ

●経過
・意識調査の実施
・個別での意見聴取

●課題
・地域展開への意識変容
・大会引率等の負担軽減
・労基法の遵守

●実施内容、工夫した点　等
・地域クラブでの活動展開の推進
・実効性のある兼職兼業制度の整備活用
・校長及び運営団体による適正な労務管理の徹底

●ステークホルダー
・運営団体のニーズ

●経過
・協議会等での意見聴取
・個別での意見聴取

●課題
・運営体制の充実
・受益者負担への理解
・指導者の量の確保と質の向上
・活動場所の確保

●実施内容、工夫した点　等
・スポーツ施設の指定管理業務や学校施設の管理業務の継続した受託
・行政部局への職員出向依頼
・指導の質(サービス)向上
・対価の差別化(4段階)
・大学生スタッフの確保
・スポーツ指導は無償でないことの理解促進
・庁内に「運営団体あり方検討委員会準備委員会」の立ち上げ

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

中学校部活動の段階的地域移行（地域展開）に係る業務イメージ

		～令和４年度	令和５～７年度	令和８～10年度
		～黎明期 ≪学校・地域混在期≫	展開期 ≪学校・地域クラブ混在期≫	完全移行（地域展開）期 ≪スポーツ部・文化部とも完全移行≫
		【国】地域運動部活動推進モデル事業	【国】地域スポーツクラブ活動体制整備事業 【国】文化部活動改革 （部活動の地域移行に向けた実証事業）	国県のモデル事業（実証事業）を受託し業務を推進
中学校	状態	◆R4.4現状 【播　磨　中】運動部12クラブ（66.5%）、 文化部 3クラブ（18.4%） 【播磨南中】運動部９クラブ（62.7%）、 文化部２クラブ（21.9%）	◆休日練習、大会参加・引率等 ・移行可能なクラブから順次（別添資料参照） 【播　磨　中】13/14部が休日地域クラブ化完了 【播磨南中】11/11部が休日地域クラブ化完了 【ＳＣ２１】16クラブが地域展開（完全移行） スポーツ：7クラブ、 文化芸術クラブ：9クラブ	◆完全移行（地域展開） ・既存部活動及び地域クラブ連携型（休日地域移行）の 全ての部を、地域スポーツ・文化芸術活動へ移行（地域展開）
	位置付け	◆学校教育活動の一環として、 学習指導要領に位置付けられた活動	◆学校教育活動の一環として、学習指導要領に位置付けられた活動 ◆社会教育活動の一環として、 地域クラブ活動（スポーツ・文化・芸術）	◆学校教育活動の一環として、学習指導要領に位置付けられた活動 ◆社会教育活動の一環として、 地域クラブ活動（スポーツ・文化芸術）
	働き方 大会 休日 早朝	◆勤務時間外に休日練習指導、大会引率指導、 早朝練習指導を実施 ◆教師の献身的な勤務で成立	◆16のクラブ：休日平日の活動を地域に移行（地域展開） ◆24の部　　：休日の活動を地域に移行（地域展開） ・教員は、兼職兼業の許可を得て有償ボランティアでの指導	◆すべてのクラブ活動が、地域に移行（休日、平日） ・希望する一部の教員は、有償ボランティアでの指導 （その際は、兼職兼業の許可を得て従事）
	大会参加	◆学校教育活動の発表の場として学校単位での参加 ◆教員または部活動外部指導者による引率	◆合同チーム（男バレー）は、 大会規定（R5.1.30）に準じ参加 ◆大会規定（R5.1.30）見直しにより、地域指導者の引率も可能	◆大会規定（R5.1.30）の見直しにより、 地域クラブ活動として参加 ◆地域指導者による引率
	兼職兼業	―	**◆休日練習、大会参加・引率等を希望する教員** ・兼職兼業の許可申請が必要（前掲） ・許可条件として、学校における他の時間外労働と休日練習、大会参加・引率等の業務時間の合計が複数月平均80時間以内等になること。（労基法第36条第6項） 有償ボランティアとしての参加だが適用	**◆地域でのスポーツ活動・文化芸術活動を希望する教員** ・兼職兼業の許可申請が必要 ・許可条件として、学校における他の時間外労働と休日練習、大会参加・引率等の業務時間の合計が複数月平均80時間以内等になること。（労基法第36条第6項） 有償ボランティアとしての参加だか適用

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

		～令和４年度 ～黎明期 ≪学校・地域混在期≫ 【国】地域運動部活動推進モデル事業	令和５～７年度 展開期 ≪学校・地域クラブ混在期≫ 【国】地域スポーツクラブ活動体制整備事業 【国】文化部活動改革 （部活動の地域移行に向けた実証事業）	令和８～10年度 完全移行（地域展開）期 ≪スポーツ部・文化部とも完全移行≫ 国県のモデル事業（実証事業）を受託し業務を推進
運営団体（ＳＣ２１はりま）の体制整備	組織	◆管理部：総会・理事会・監事等 ◆事業部：クラブ事業・指定管理事業 ◆職　員：理事長１、副理事長２、理事9、監事２、事務局職員５（事務局長1、会計総務1、リーダー1・職員2）	◆事業部：クラブ事業内に部会を新設 ・「地域クラブ活動推進部」と「指導者研修部」 ◆職　員：業務増加に伴い職員を配置（館長＆Co） ・「地域部活動コーディネーター2名」（国庫⅓）※中学校OBを配置 ◆地域クラブアドバイザー招聘事業（町・委託料） ・クラブ運営の質的向上を図るため、年間５回実施	◆事業部：現状に応じて変更の可能性あり ◆職　員：現状に応じて変更の可能性あり ・「地域部活動コーディネーター」（町費に移行予定） ・事務職員（町費） ◆地域クラブアドバイザー招聘事業（町・委託料） ・クラブ運営の質的向上を図るため、年間５回実施
	会費	◆入会金：全員1，000円 ◆会　費：大人2，000円、子供1，500円（保険料込み）	◆入会金：全員1，000円 ※部活動地域連携型クラブの場合は、この限りではない ◆会　費：子供1，500円 ※部活動地域連携型クラブの場合は、この限りではない ◆保険料：SC21会費に含まれる保険にて対応 ※学校加入のスポーツ振興センター補償内容と同等 ※生活困窮世帯の中学生は、保険料・会費・入会金の全額減免	◆入会金：全員1，000円　※変更の可能性あり ◆会　費：子供1，500円　※変更の可能性あり ◆保険料：受益者負担に移行
	活動施設	◆町内施設、小・中学校施設の一元管理 ・R3導入の施設予約システムの活用	◆学校教育活動以外の時間帯の体育施設や文化施設の有効活用 ・２中学校（体育館、武道場、運動場、テニスコート、プール） ・４小学校（体育館、運動場、プール） ・中央公民館、コミセン等 ◆小中学生（地域クラブ）のみの活動については、全額減免措置 ◆利用ルールの策定及び徹底 ・利用団体の不公平感の是正と中学生の優先利用	◆学校教育活動以外の時間帯の体育施設や文化施設の有効活用 ・２中学校（体育館、武道場、運動場、テニスコート、プール） ・４小学校（体育館、運動場、プール） ◆小中学生（地域クラブ）のみの活動については、全額減免措置 ◆利用ルールの徹底 ・利用団体の不公平感の是正と中学生の優先利用 ◆活動場所の確保に向け、運動場ナイター照明設置の検討
	指導者確保	◆加盟団体から部活動指導員として活動（国庫⅓） ・播　磨　中：剣道、卓球 ・播磨南中：サッカー（SC）、ソフトテニス	◆指導者バンクの新設　※120名が登録（R6．12．31） ◆新たな指導者の発掘（町内外からの募集等） ・公認指導者　・スポーツ推進委員　・退職教員 ・現職教員（兼職兼業）　・連携協定大学生等 ・企業スポーツ活動者　・各種芸術団体師匠、他	◆指導者バンクの充実 ◆新たな指導者の発掘（町内外からの募集等） ・公認指導者　・スポーツ推進委員　・退職教員 ・現職教員（兼職兼業）　・連携協定大学生等 ・企業スポーツ活動者　・各種芸術団体師匠、他
	指導者養成	―	◆地域クラブ指導者研修事業（町・委託料） ・指導者の資質能力の向上を図るため、年間５回の開催	◆地域指導者研修事業（町・委託料） ・指導者の資質能力の向上を図るため、年間５回の開催 ・R7からは悉皆研修に位置付け、定額日当（謝金）を支給 ・出欠に関する罰則等の規定を設定
	指導者謝金	◆部活動指導員へ支出（国・県） ・実施要項、要領に基づき支出	◆地域クラブ指導者への謝金 ・町単費での対応　※一部国庫委託料 ・資格保有者により時間単価を３段階（ABC）に差別化 ※A：2，400円、B：1，600円、C：1，200円 ※R7からは４段階へ移行	◆地域指導者への謝金 ・実施団体へ受益者負担（会費に上乗せ）することで対応 ・運営団体に対しては町単費（一部国庫充当）で対応 ※R7年度中に、検討

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

		～令和４年度	令和５～７年度	令和８～10年度
		～黎明期 ≪学校・地域混在期≫	展開期 ≪学校・地域クラブ混在期≫	完全移行（地域展開）期 ≪スポーツ部・文化部とも完全移行≫
		【国】地域運動部活動推進モデル事業	【国】地域スポーツクラブ活動体制整備事業 【国】文化部活動改革 （部活動の地域移行に向けた実証事業）	国県のモデル事業（実証事業）を受託し業務を推進
行政	財源	◆教育委員会 ・中学校運動部活動地域移行推進事業 （1，704千円）	◆新規・拡充事業 ○住民協働部 ・地域クラブ指導者研修事業（町・委託料　131千円） ・地域クラブアドバイザー招聘事業（町・委託料　210千円） ○教育委員会 （R5：7，606千円、R6：24，742千円、R7：35，093千円予定） ・地域スポーツクラブ活動体制整備事業 コーディネーター設置（R6：２名配置） 地域クラブ活動運営費 地域クラブ活動費 困窮世帯支援費	◆原則、受益者負担　※全てを賄うことは不可能 ・R7年度中に設立予定の部活動地域展開推進委員会（仮称）において、国の動向や「SCはりま」の財源等を参考に総合的に検討 ◆町の子育て支援策として環境整備等を支援 ・備品、消耗品、指導者謝金、旅費等の一部を助成予定

≪喫緊の課題≫

○運営母体の「SCはりま」の体制整備（人事・財政・運営）
→　R7に「部活動地域展開推進委員会（仮称）」を庁内に立ち上げ運営の在り方を検討予定

○スポーツ指導者の質の保障及び量の確保
→　９年間を見据えた系統的指導体制の確立　☜　種目協会の立て直し、組織での指導体制の構築

○アンケート調査（R6.12実施分）の分析（中学生・小学生・保護者・教員）　☛　実施済（HP：R5.2/4、R6.3公表済み）

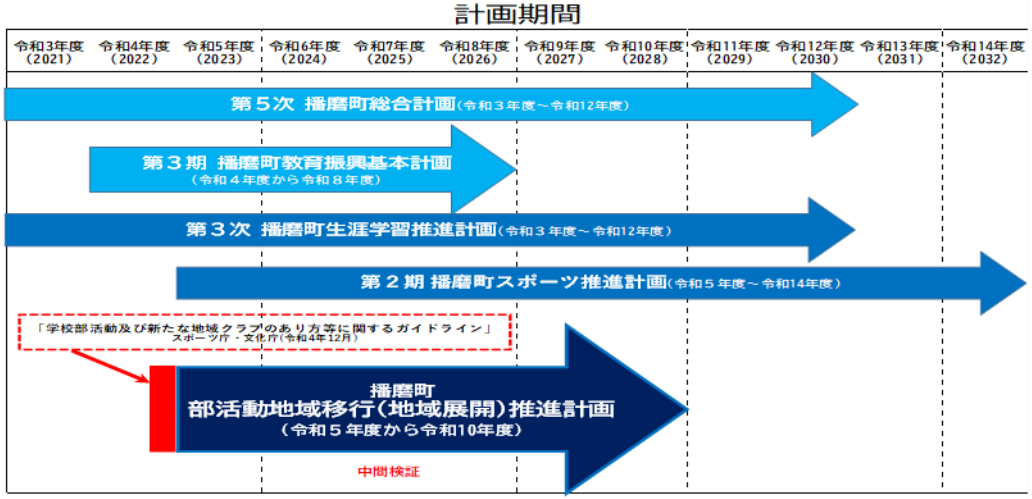
○「播磨町地域部活動ガイドライン」の策定（時間帯・休養日等）　☛　策定済み（R5.3）

○「播磨町部活動地域移行（地域展開）推進計画　☛　策定済み（R6.3）をR7年度中に中間検証を実施予定

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



播磨町部活動地域展開イメージ図



部活動地域移行（地域展開）ロードマップ

